

2024年8月21日(水)

『 韓国短期交換留学を終えて 』

岐阜県立岐阜城北高等学校インターアクト部
副部長 林 美伶 様

7月26日～7月30日に岐阜城北高校の代表として韓国へ短期交換留学させていただきました。

5日間のうち3日間ホームステイをしました。感じたことは、ホストファミリーの優しさと愛です。出発前は、ホームステイの3日間は不安だな、やっていけるかな？と思っていましたが、そんな心配もいらなくらい楽しく過ごすことができました。今ではホームステイの期間が短すぎる！もっと一緒にいたい！また会いたい！と思っています。もちろん言語の壁はありましたが、身振り手振りと翻訳アプリで気持ちを一生懸命伝え合うことができました。一緒に過ごす時間が増えていくと同時に友情の絆が強くなり、想像以上に素晴らしい国際交流をさせていただきました。交友関係が一気に広がり、私にとってこの5日間はとても濃くて、これまでの人生で一番最高の経験となりました。

ホームステイをして私がすぐに気付いた日本と韓国の文化の違いは2つあります。1つ目は、交通機関です。ホストファミリーのジダムちゃんと一緒にソウルタワーへ行った時、バスを利用したのですが、日本のバスは乗客が座るまで出発しないけれど、韓国では乗車したらすぐに進んでしまいました。バスストップのボタンも天井にあり驚きました。2つ目は食のマナーが日本と真逆だったことです。日本では茶碗を持つ、手を添える、肘をついてはいけない、残さず最後まできれいに食べる。これらが普通のマナーです。韓国では、茶碗は持たない、肘をついて食べる、手を添えないで食べる、少しご飯を残す。これが当たり前の食のマナーでした。また他にも、お店の開店時間は昼からなのが普通です。みんな起きる時間が遅いので、お店の始まりが遅い分、店も深夜まで開いているなどの違いもありました。それに絶対毎晩、必ずトッポギとかピザとか結構沢山の量の夜食がでてきました！（なのにみんな痩せてるのは不思議でした。）

どの体験も実際にホームステイできたからこそ、五感でしっかり感じることができました。普通の観光旅行では気付けないことだったと思います。

私は高校を卒業した後、韓国の美容の大学に留学する予定です。その思いは一層強まりましたが、今回の交換留学を終えてもっと言語を勉強していれば韓国の皆さん(ホストファミリー・引率の先生方・現地の方々)とアプリに頼らないコミュニケーションがとれると後悔をしました。高校卒業まであと一年半。今、私は次のステップに向かってまずは語学を一生懸命勉強したいと思っています。

このような計画をしてくださった国際ロータリー韓国3600地区・日本2630地区RCの皆様、ご支援いただいた岐阜北ロータリークラブの皆様、本当に貴重な経験をありがとうございました！